

1.1 X線造影剤

アミドトリゾ酸Naメグルミン液
Amidotrizoic Acid

- ガストログラフィン経口・注腸用
(バイエル)液：76%,100mL
(ヨード37%),

[用]消化管撮影：経口投与：1回60mL
(レリーフ造影10～30mL)

コンピューター断層撮影による
上部消化管造影：

水で30～50倍に希釈し、
250～300mL、

注腸：水で3～4倍に希釈し、
500mLまで、

(未承認) 条虫駆虫→211頁
(十二指腸下行脚注入)

硫酸バリウム 末,散,ゾル,懸濁液、

- バリトゲン(伏見)

散：98.47%

デラックス散：97.98%

HD散：98.6%

SHD散：99%

- バロジェクトゾル100(堀井)

アルコールが2vol%含有

→アルデヒド反応に注意(613頁)。

- バリトッパ(カイケン)

HD散：99%

CT液：1.5%

ゾル：150%

P散：94.6%

液：120%

ウムブラ,エネマスター,ネオダルム,ネオバルギン,
パムスター,バリエネマ,バリコング,バリコンミール,
バリテスター,バリブライト,バロスパス,ホリイ,
共成

- [禁]1.消化管穿孔又はその疑い
2.消化管に急性出血
3.消化管の閉塞又はその疑い
4.全身衰弱の強い患者

- コロンフオート(伏見製薬)

内用懸濁液：25%。

[特]腸管内容物のX線吸収率↑

→大腸CT画像上で腸管組織と腸管
内容物を識別(便標識)

→腸管内容物を残して大腸CT診断
→従来の腸管前処置の負担軽減。

[効]腸管内容物の標識による大腸

コンピューター断層撮像の補助

[用]1回32mLを検査前日から毎食後
内服。

- 服用前の非標識の残便,服用後の
硫酸バリウムの速やかな排泄
→緩下剤等併用。
- 腸管蠕動運動が著しく低下。

重度の便秘は注意。

- 食事と投与タイミングに注意。

[禁]前項参照。

[注]事前の腸管拡張→消化管穿孔→バリ
ウム腹膜炎→送気等の処置は慎重に。